



2007年2月22日

2007年6月期 中間決算説明会

株式会社 構造計画研究所

【本資料についての注意】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

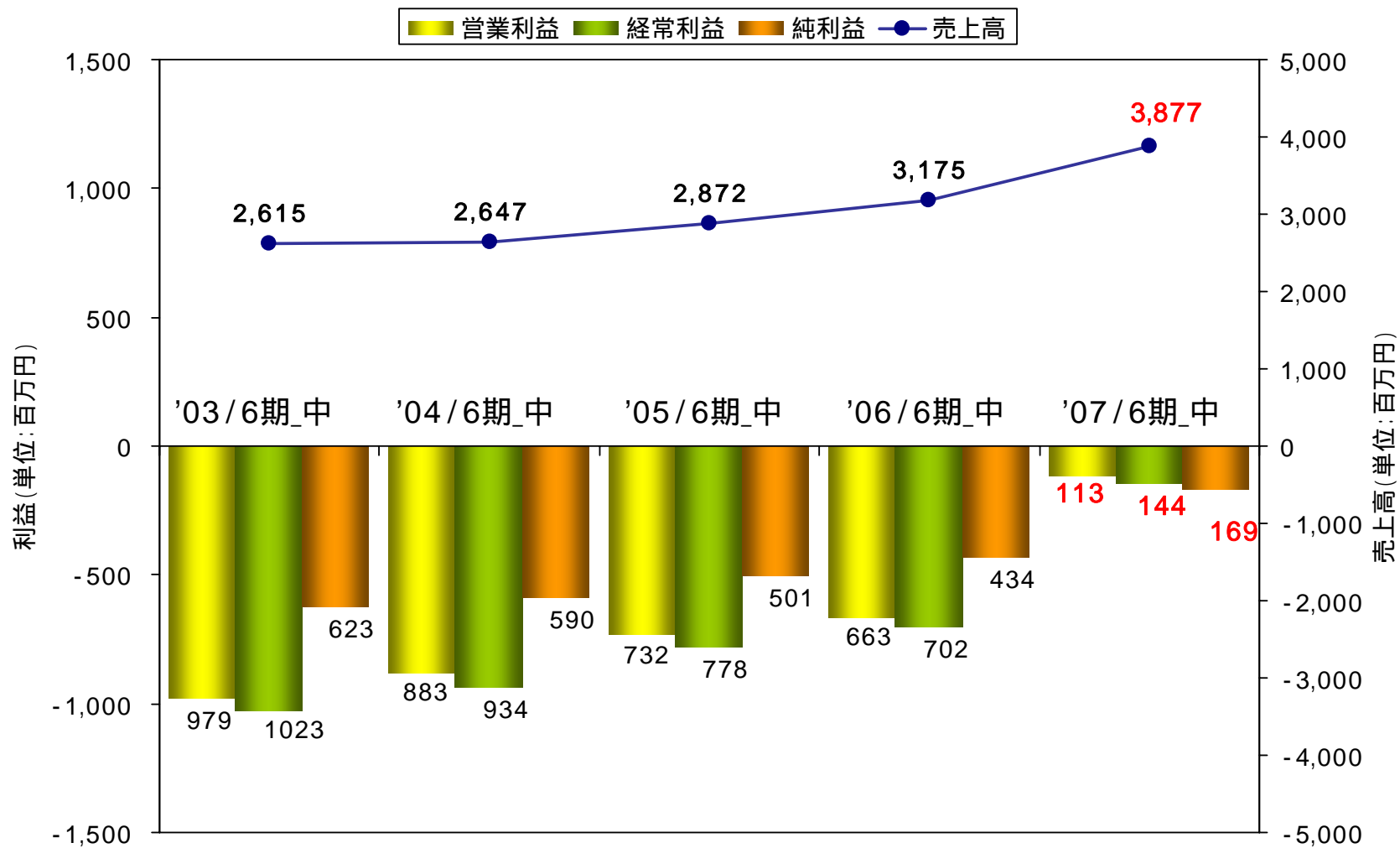
アジェンダ

1. 中間期業績について.....2
2. 通期業績予想について.....18
3. トピックス.....27

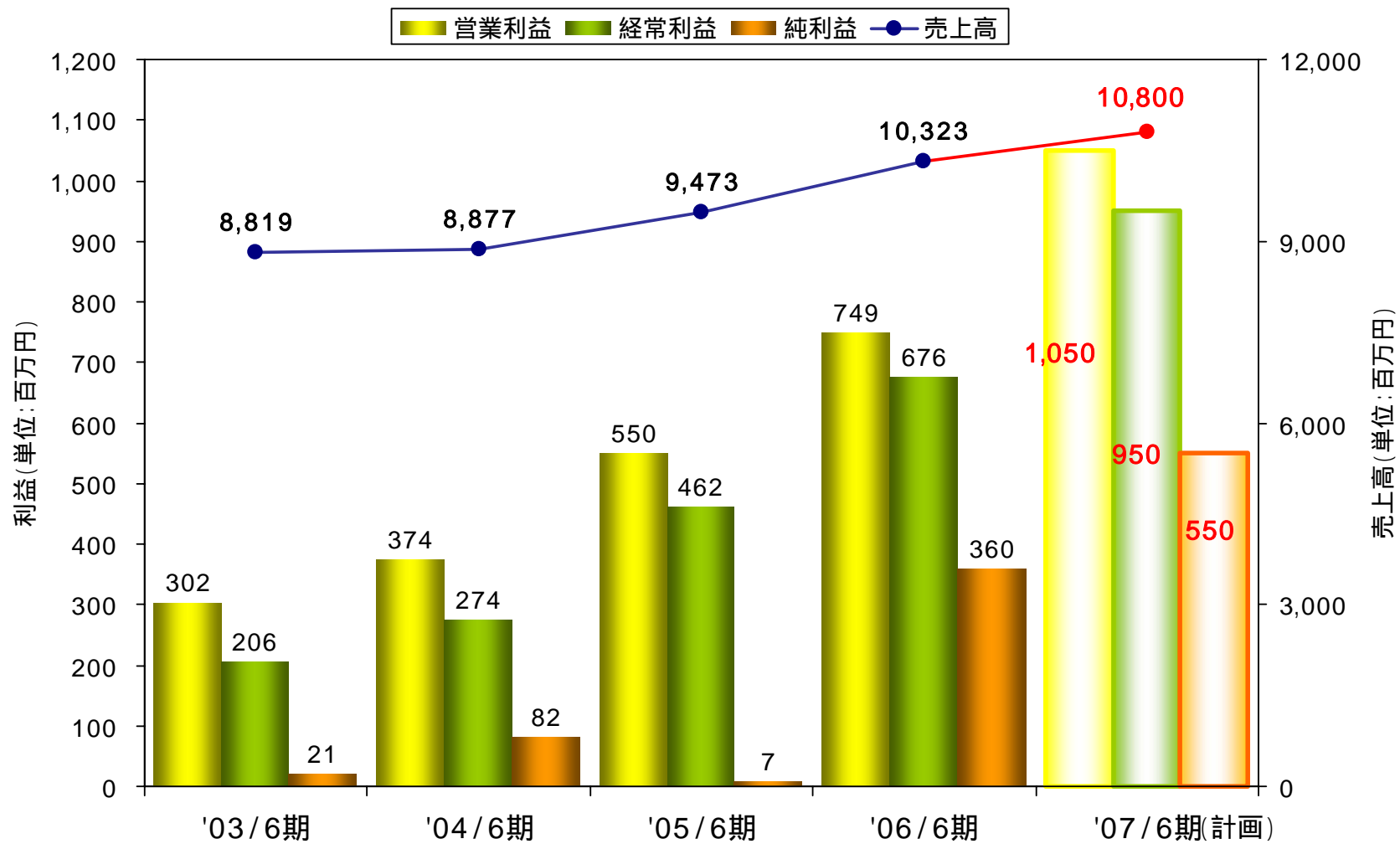
(注) 本資料の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

1. 中間期業績について

中間期の業績推移



(参考) 通期の業績推移



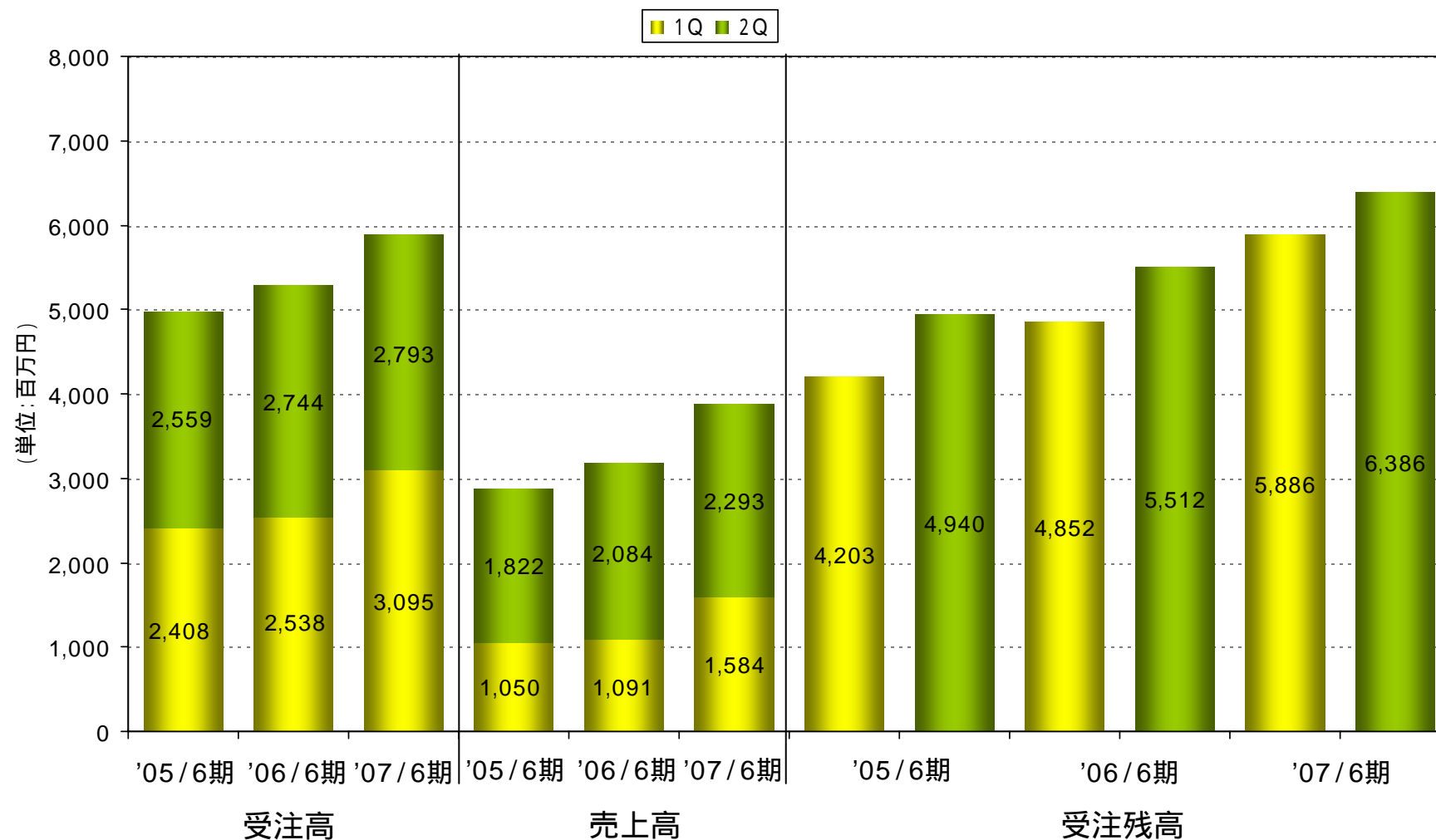
決算ハイライト

単位:百万円

	'06/6期中間	'07/6期中間	増減額	増減率
受注高	5,282	5,888	605	11.5%
売上高	3,175	3,877	702	22.1%
営業利益	663	113	549	-
経常利益	702	144	558	-
当期利益	434	169	264	-

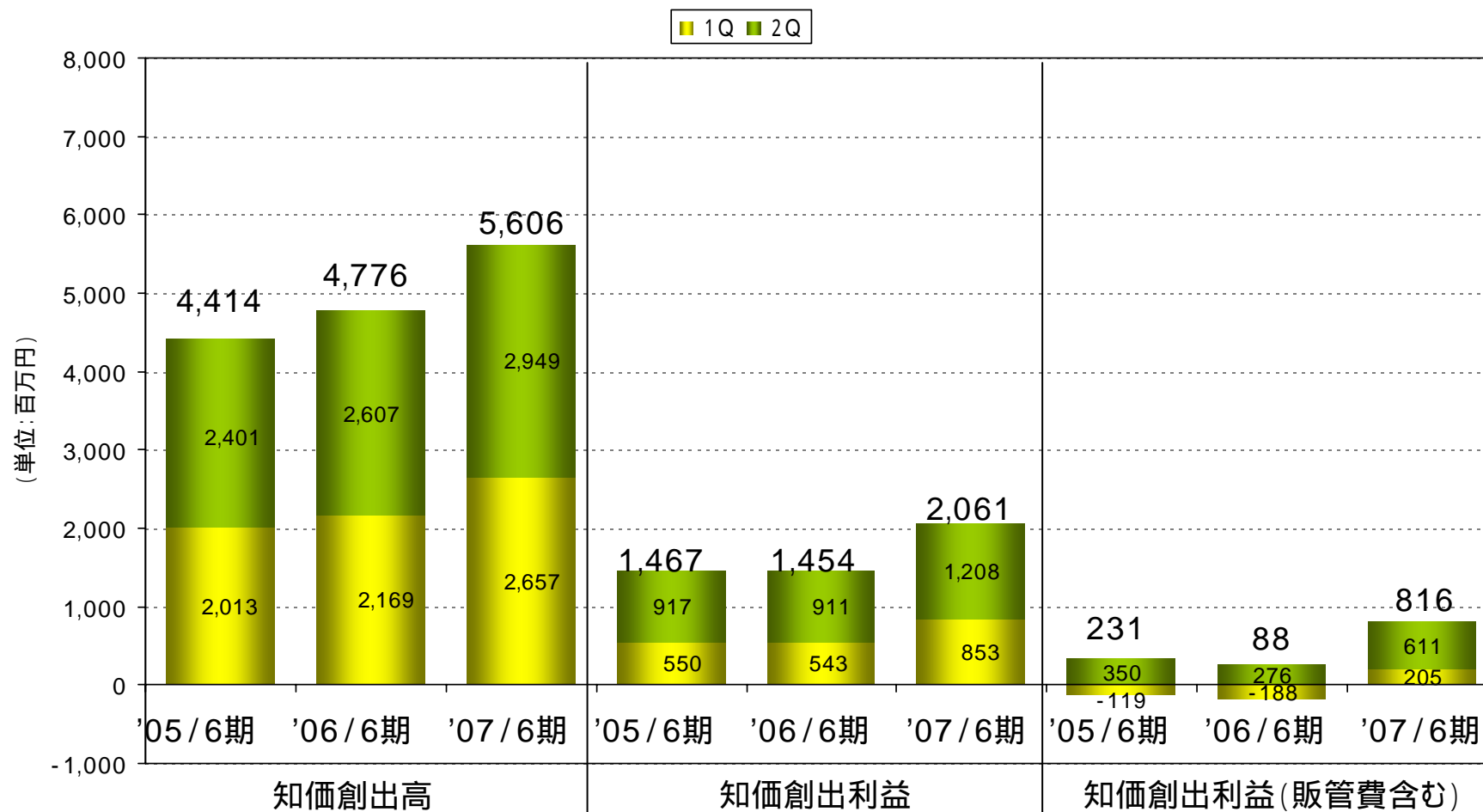
- 受注高増加、売上高増加要因
 - － 顧客の設備投資意欲の回復や耐震偽装事件が追い風に
 - － 企画提案営業力の強化
- 利益増加要因
 - － 企画提案営業力強化の成果である、利益性の高い仕事の受注
 - － 受注増による利益性の高い仕事の受注
 - － 受注増による稼働率のアップ
 - － 不採算プロジェクトの減少 (ISOへの取り組みやプロジェクトマネジメントの向上)
 - － 不採算ビジネスからの撤退による負担軽減

受注高・売上高・受注残高の推移



知価創出高・知価創出利益の推移

当社ではソフトウェアの開発など、受注から売上までの期間が長いプロジェクトがあるため、進捗度合いを金額換算した業績管理・予測・レビューのための内部指標である工事進行基準を開示しております。



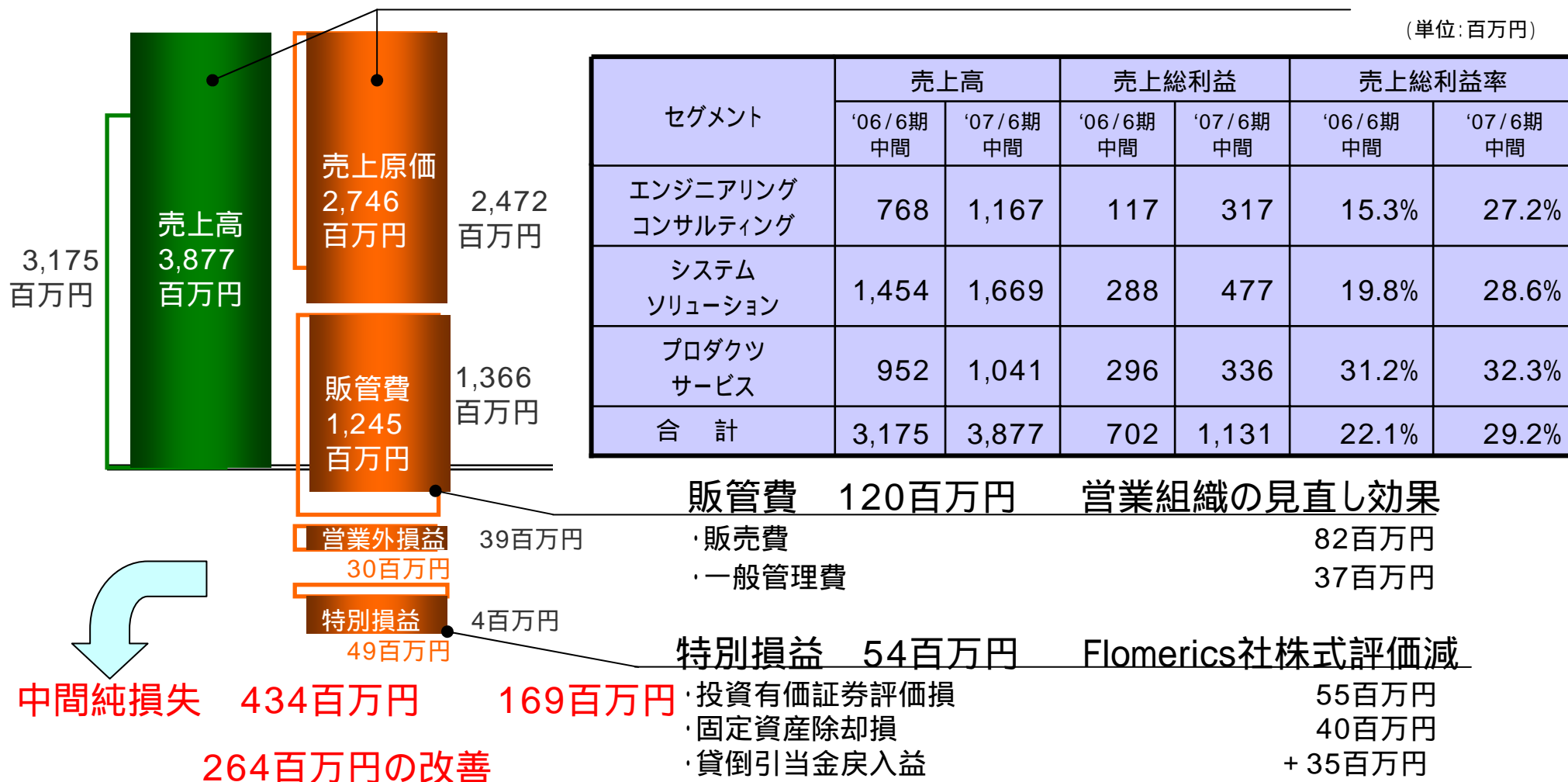
当年度業績連動の賃金制度を導入しているため、年度末においては人件費の変動により利益が変動する可能性があることを予めご了承ください。

財務諸表

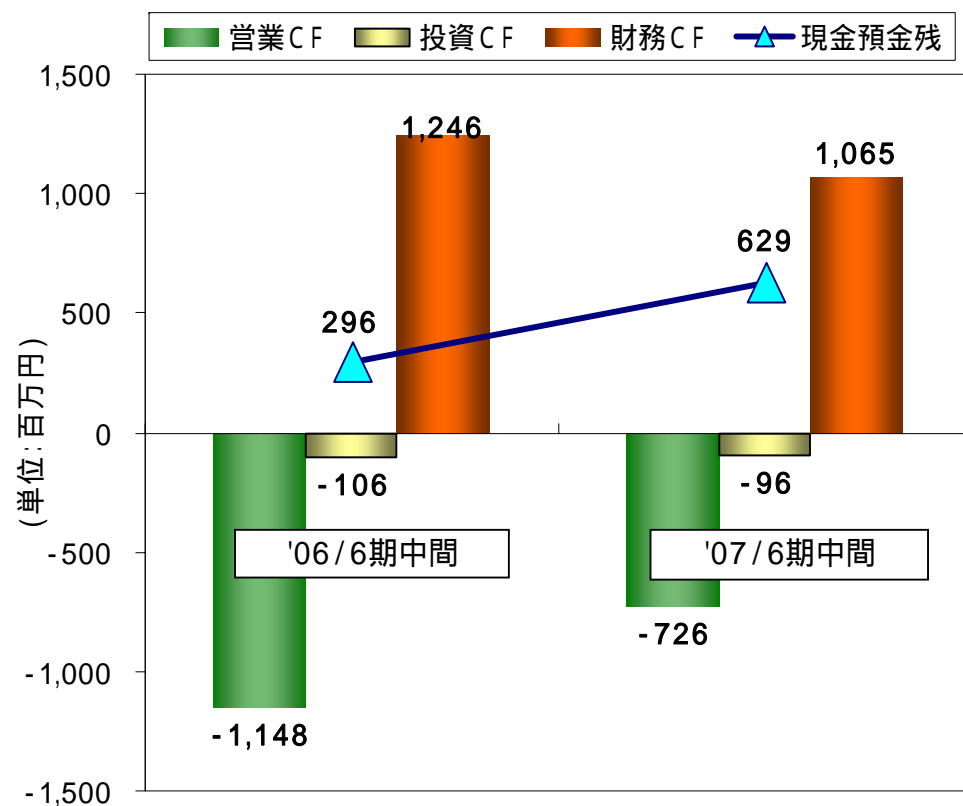
P/L 中間純損失改善 (前年同期比)

売上高増加(+702百万円) × 売上総利益率改善(+7.1%)

売上総利益額の増加(+428百万円)



CF 健全化促進



主な内訳

営業CF: 726百万円 **前年同期比+421百万円**

- ・税引前中間純損失 194百万円
(前期比 + 503百万円)
- ・減価償却費 146百万円
- ・たな卸資産の増加 803百万円
- ・売上債権の減少 894百万円
- ・未払費用の減少 470百万円
- ・貸倒引当金の減少 51百万円
- ・法人税等の支払 238百万円

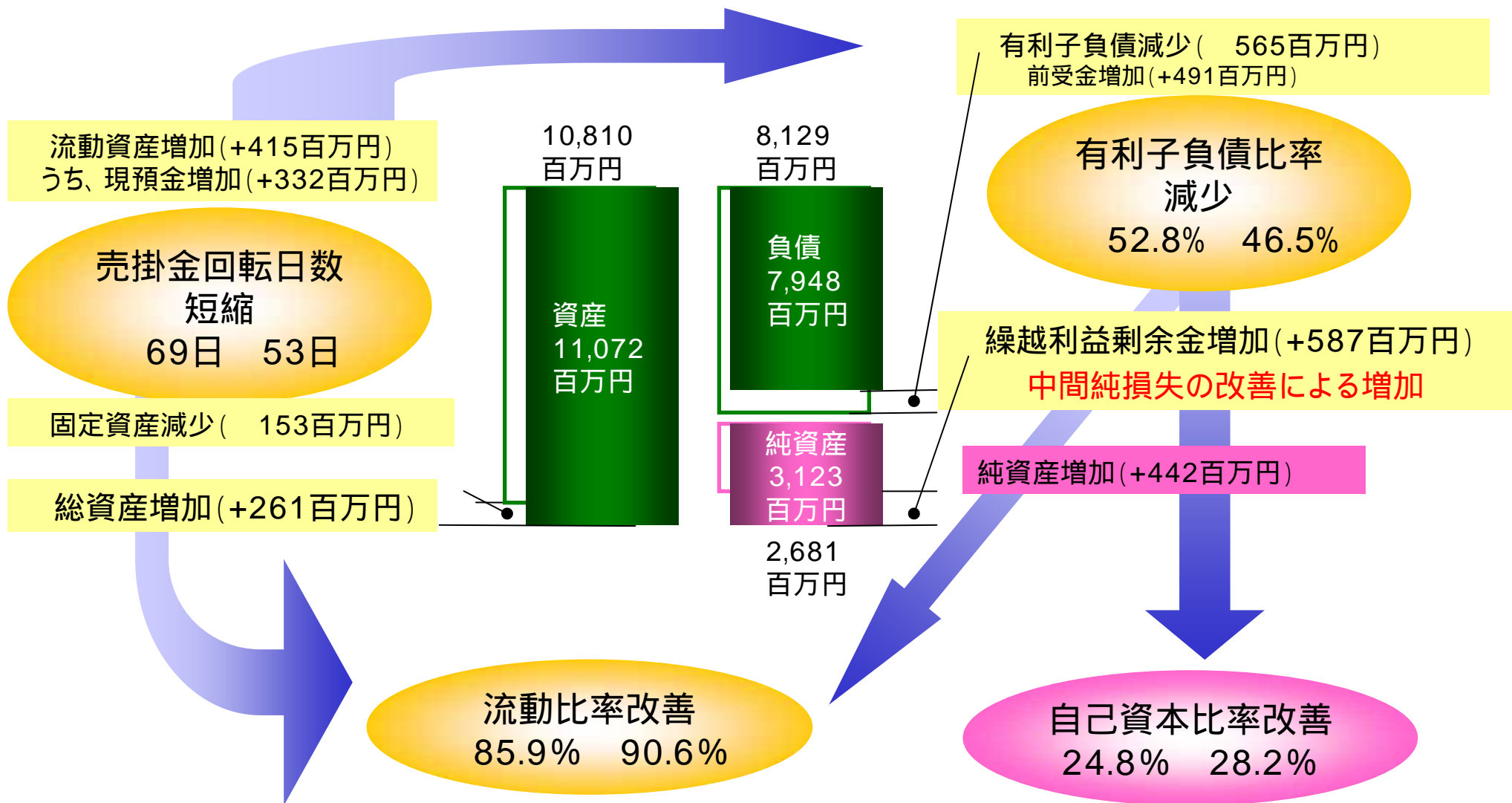
投資CF: 96百万円 **前年同期比+9百万円**

- ・投資有価証券取得 148百万円
- ・固定資産の取得 61百万円
- ・保険金積立金解約等 89百万円

財務CF: 1,065百万円 **前年同期比 181百万円**

- ・借入金の純増 1,177百万円
(前期比 35百万円)
- ・配当金の支払 105百万円

B/S 健全化の循環



セグメント別状況

セグメントの区分と名称の変更

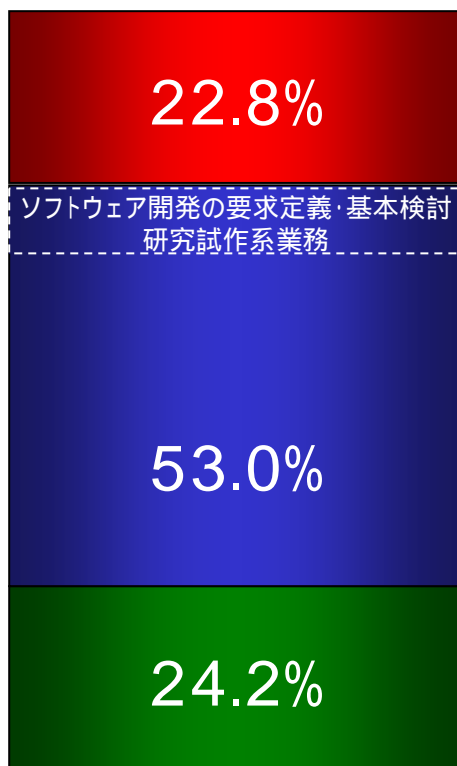
従来ソフトウェア開発に分類していた上流工程でのコンサルティング業務(要求定義・基本検討・研究試作)を、エンジニアリングコンサルティングに移動するとともに、セグメント名称を変更。

'06/6期売上実績(従来区分)

'06/6期売上実績(変更後区分)

()内は売上総利益率

エンジニアリング
コンサルティング
(33.3%)

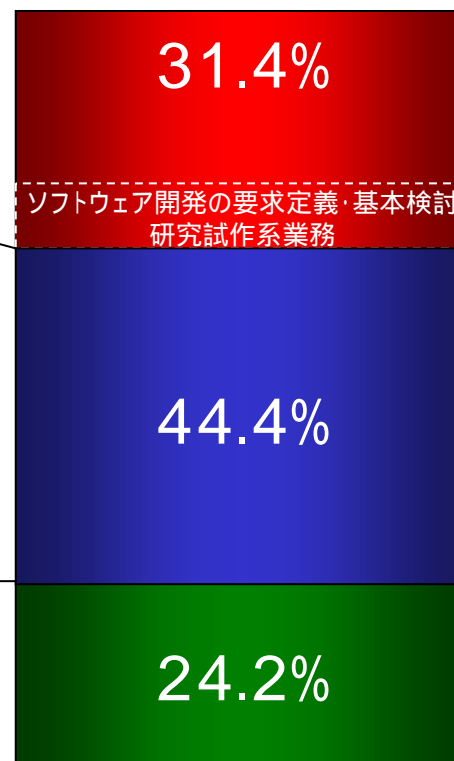


ソフトウェア開発
(34.1%)

パッケージソフト
(19.7%)

()内は売上総利益率

エンジニアリング
コンサルティング
(34.3%)

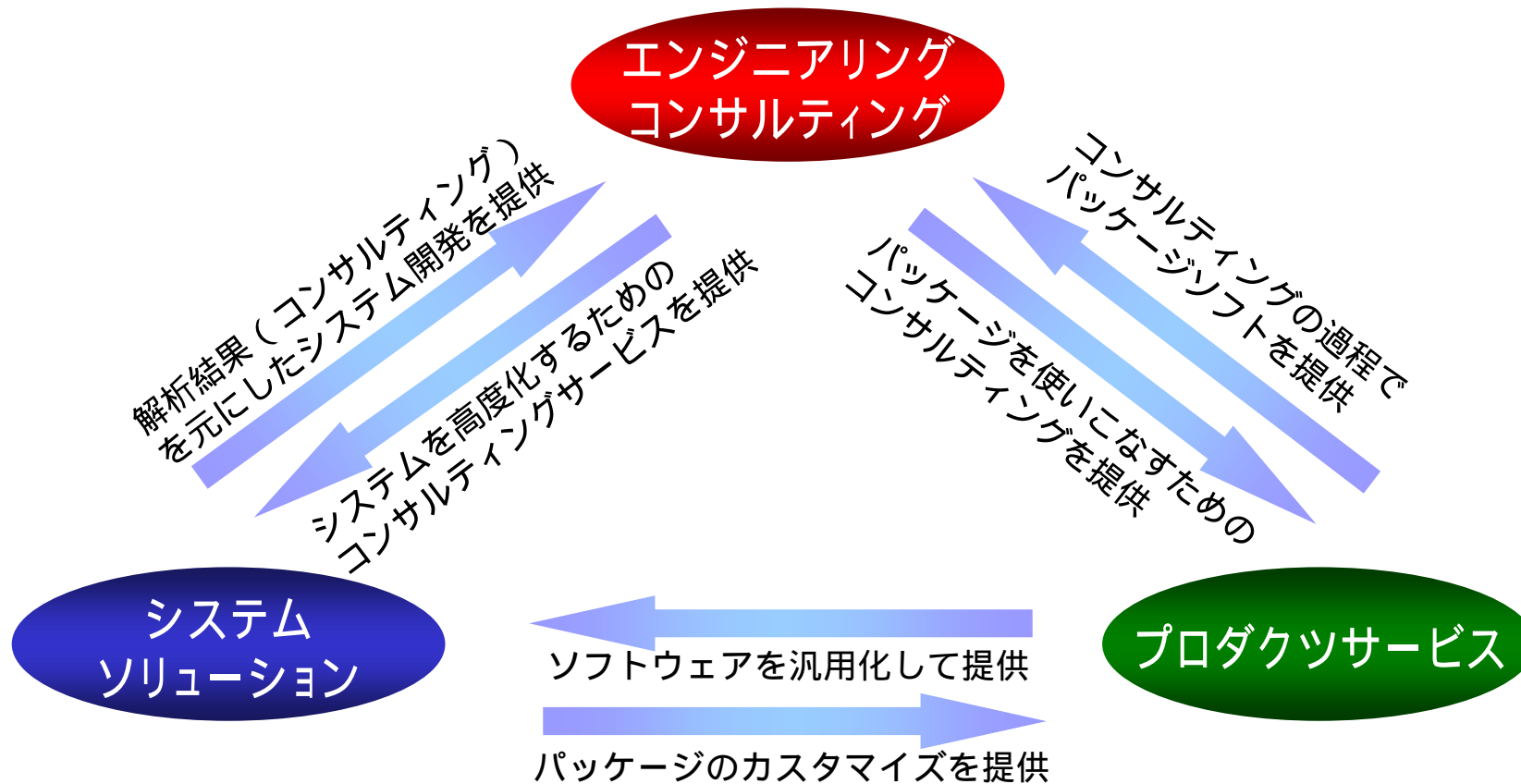


システムソリューション
(33.6%)

プロダクツサービス
(19.7%)

パッケージソフト、プロダクツサービスの売上原価には、販売部門の販売費を加算しております。

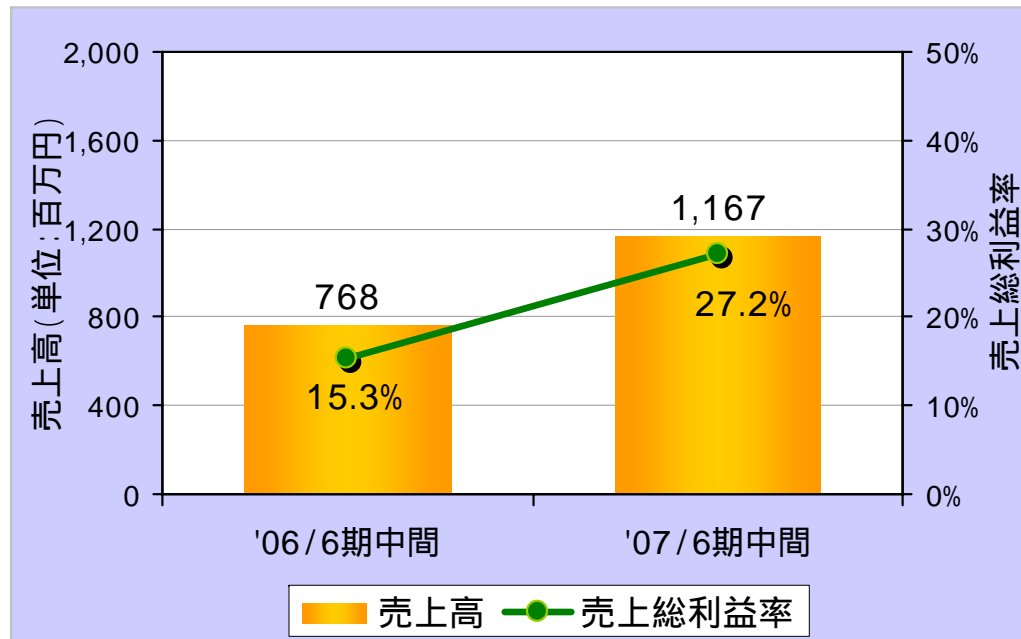
サービス提供の3形態



セグメント エンジニアリングコンサルティング

単位:百万円

	'06/6期中間	'07/6期中間	増減率
売上高	768	1,167	51.9%
売上原価	650	849	30.6%
売上総利益 (利益率)	117 (15.3%)	317 (27.2%)	169.9%



- ❖ 防災・耐震・数値解析
- ❖ 建築構造設計
- ❖ マーケティング・意思決定支援コンサル
- ❖ 製造・物流系シミュレーション
- ❖ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討など

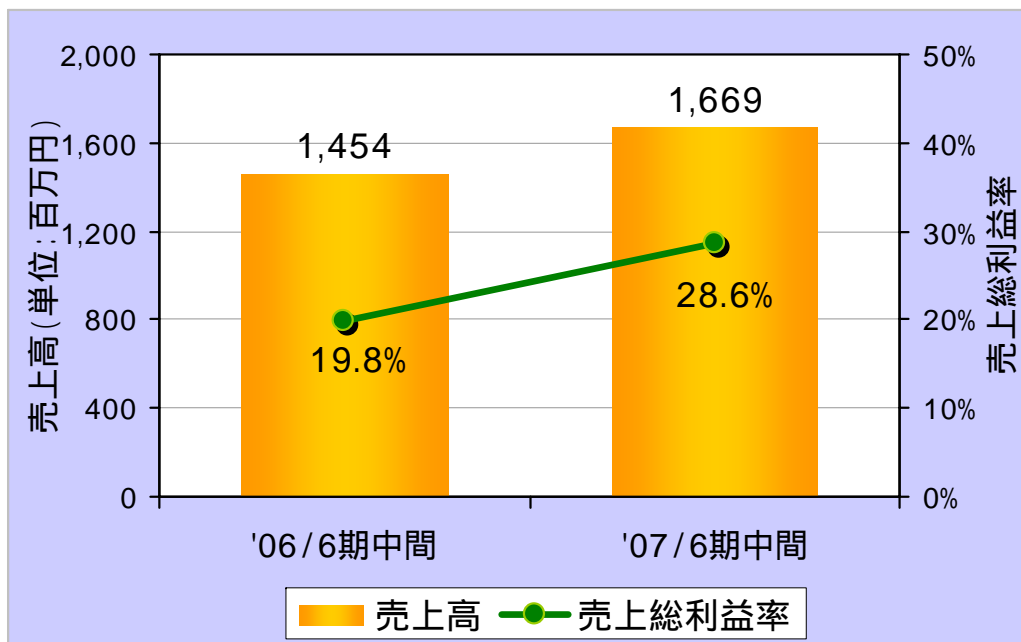
売上、売上総利益率ともに大幅に改善

- 耐震偽装事件を追い風とした構造設計および解析コンサルティングが好調
- 意匠設計など不採算事業からの撤退・縮小の影響
- 工期の短いプロジェクトが多いため、受注増が売上増に直結
- 受注増による稼働率向上

セグメント システムソリューション

単位:百万円

	'06/6期中間	'07/6期中間	増減率
売上高	1,454	1,669	14.8%
売上原価	1,166	1,191	2.1%
売上総利益 (利益率)	288 (19.8%)	477 (28.6%)	65.8%



- ❖ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ❖ 製造業向け営業・設計支援システム
- ❖ マルチメディアソリューション
- ❖ 構造設計支援システム

売上、売上総利益率ともに増加

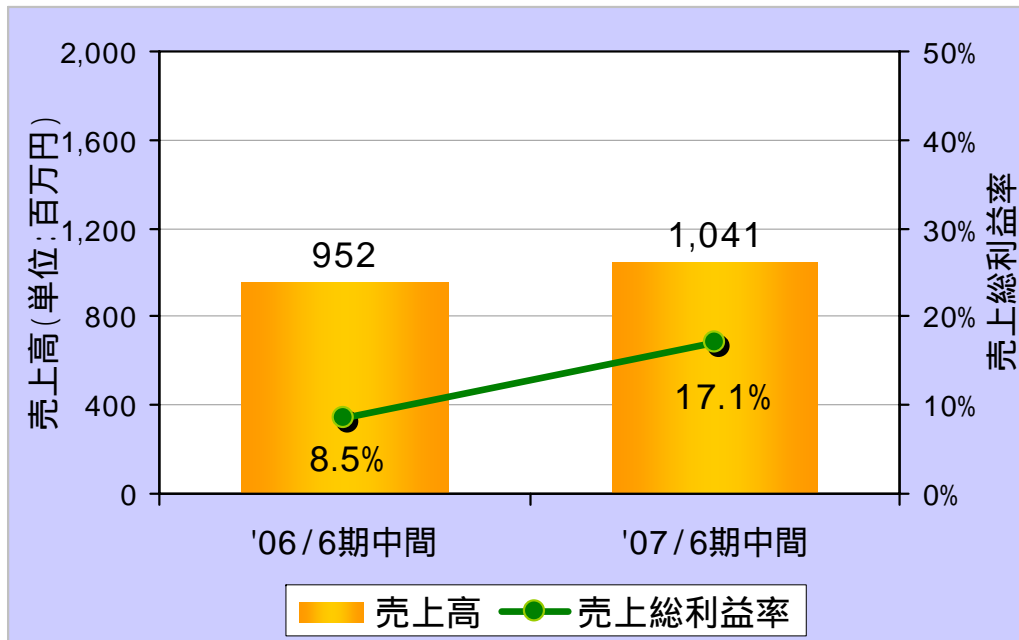
- 情報通信業(通信キャリア)顧客のプロジェクトが好調
- 不採算プロジェクトの減少
- 受注好調により、採算性の低い業務から撤退し、利益性のよいプロジェクトへの移行

セグメント プロダクツサービス

単位:百万円

	'06/6期中間	'07/6期中間	増減率
売上高	952	1,041	9.3%
売上原価	872	863	1.0%
売上総利益 (利益率)	80 (8.5%)	177 (17.1%)	120.7%

当セグメントの売上原価には、販売部門の販売費を加算しております。



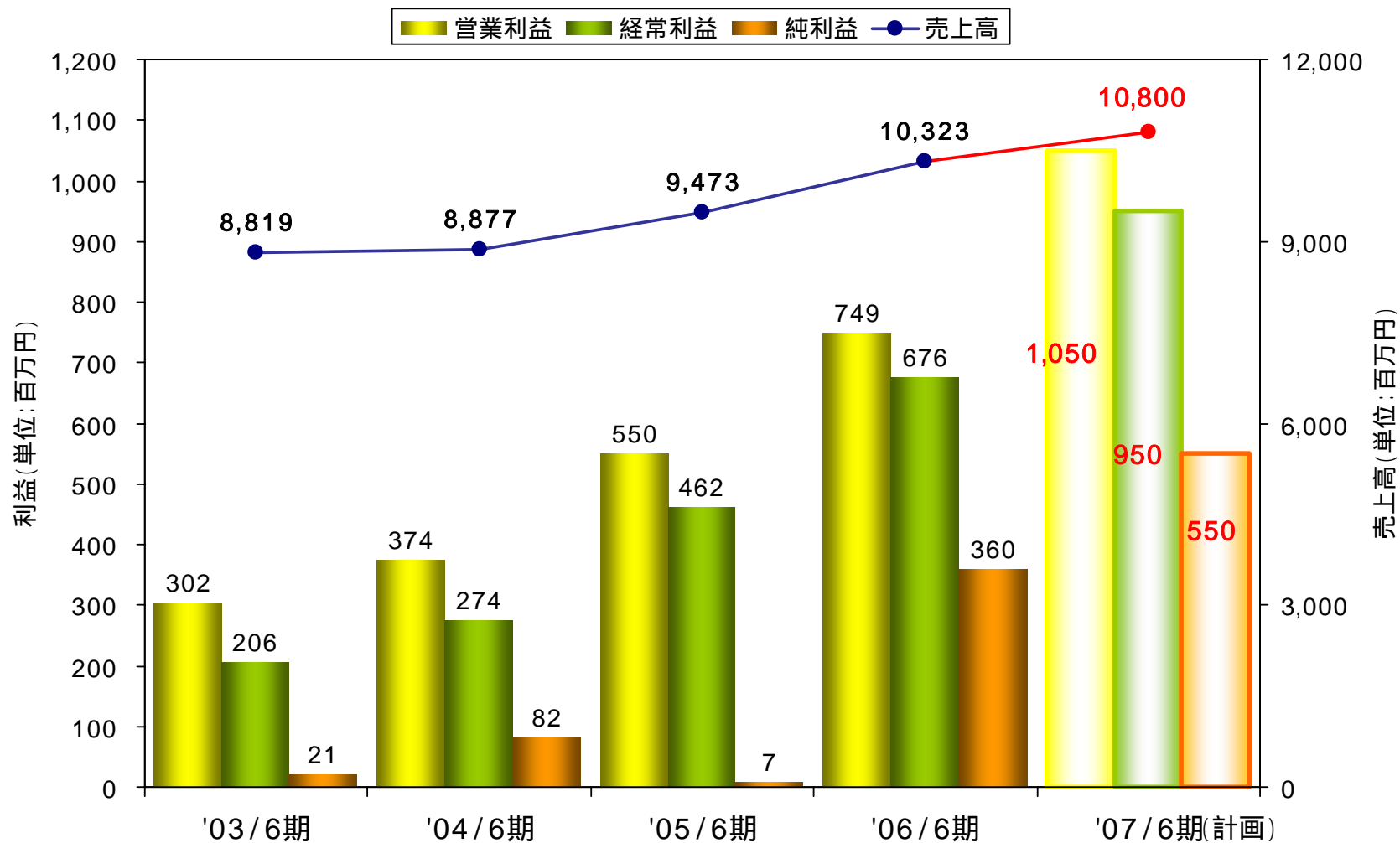
- ❖ 設計者向けCAEソフト
- ❖ 構造解析・耐震検討パッケージソフト
- ❖ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ❖ 通信業向けシミュレーションソフト

売上増加、売上総利益率が改善

- 製造業向け設計者支援ソフトウェア EFDLab, COSMOSシリーズの売上が好調
- 研究機関向けネットワークシミュレーター QualNetの売上が好調
- 採算性の低い建築・土木CADからの撤退開始の影響により、利益率改善

2. 通期業績予想について

通期の業績推移



5期連続増益の要因

5年間で年間の営業利益が3億円から10億円('07/6期計画)まで回復している要因

- 構造設計、耐震・防災コンサルティング分野で差別化された地位を確立したこと
- 無線通信分野で高い技術力を保持し、顧客からの信頼を得ていること、営業の横展開が進んだこと
- 製造業向けの設計支援プロダクツが好調に推移したこと
- マーケティング・意思決定支援関連のビジネスが拡大したこと

成長を支える取り組み

- ・ 社内の制度設計
(目標管理と成果主義、自律分散型組織の確立、ステークホルダーへの利益分配)
- ・ 業績達成に対する意識の変革・向上
(管理会計の刷新、部門別採算性の導入、中期計画のローリング)
- ・ 営業の強化
(営業ユニットの確立、企画提案力の強化、優秀な人材の営業へのシフト)
- ・ ISOへの取り組みによる不採算プロジェクトの減少
- ・ 優秀な人材の獲得とシャドーワーク、考える組織への脱皮

通期業績の予測

売上高計画108億円に対して、下半期に70億円の売上が必要

- 受注残高(63億円)に対する下半期売上高の比率の変動
- 下半期受注・当期売上計上額の変動
- 業績連動型賃金制度による人件費の変動
- 将来に向けた投資プロジェクトの業績への影響

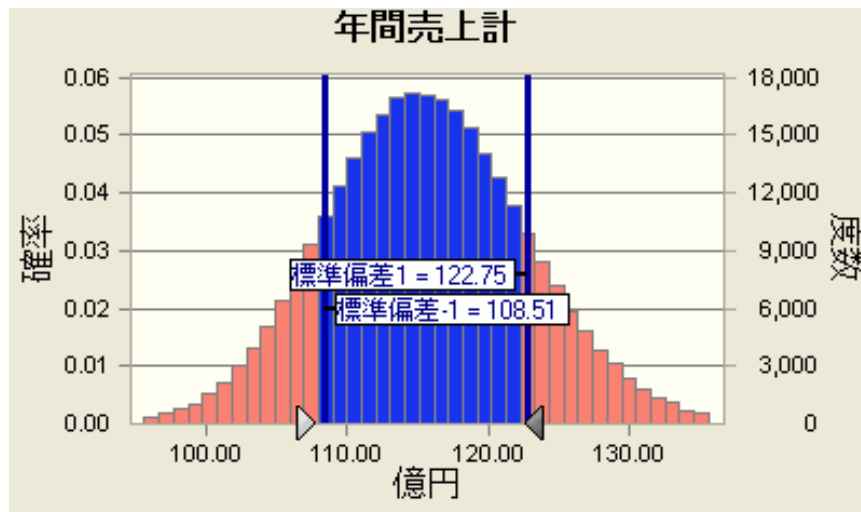
などのリスク要因があり、現時点では確定的な予測は難しい

リスク分析の実施

(過去3年の実績データ等より個々の変動パラメータを設定)

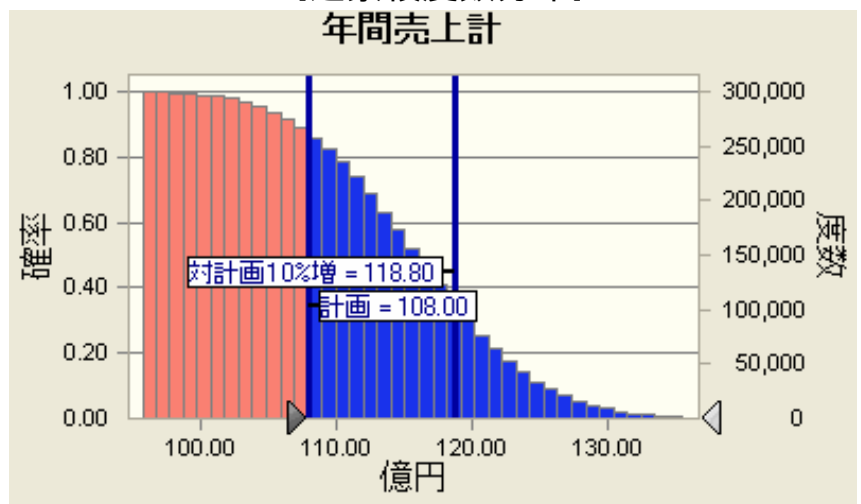
売上高予想

【度数分布】
年間売上計



試行回数	300,000
平均値	115.63
中央値	115.46
最頻値(モード)	---
標準偏差	7.12
分散	50.71
歪度	0
尖度	3.03
変動係数	0.06159
下限	87.81
上限	150.32
平均標準誤差	0.01

【逆累積度数分布】
年間売上計

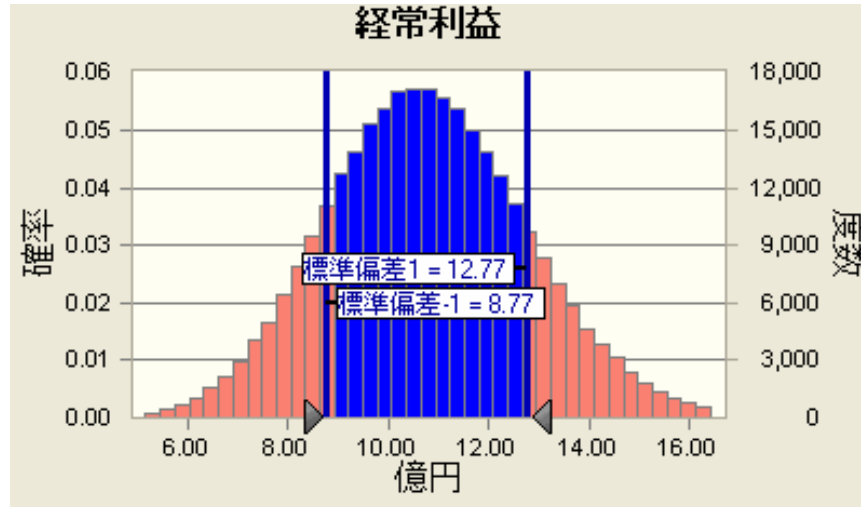


(単位: 億円)

	計画	予想結果	
		平均	1 範囲
売上高	108.0	115.6	108.5 ~ 122.8

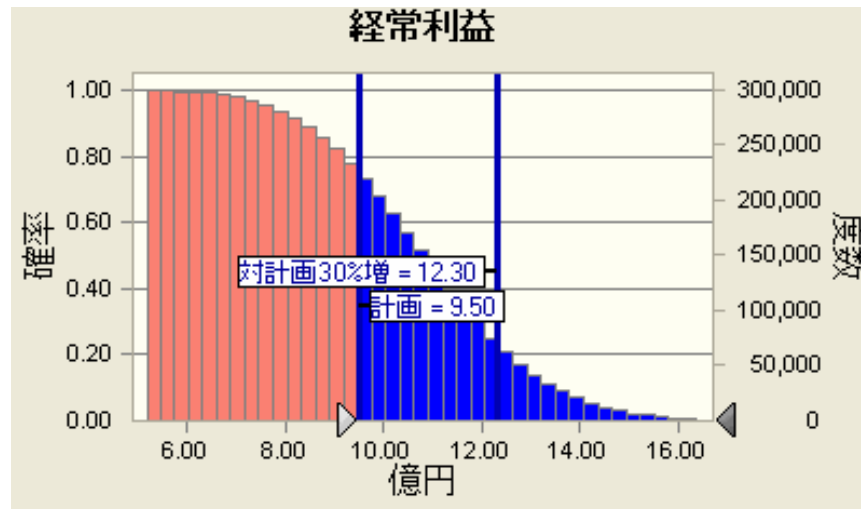
経常利益予想

【度数分布】
経常利益



試行回数	300,000
平均値	10.77
中央値	10.72
最頻値(モード)	---
標準偏差	2
分散	4.01
歪度	0
尖度	3.05
変動係数	0.18599
下限	2.23
上限	21.42
平均標準誤差	0

【逆累積度数分布】
経常利益



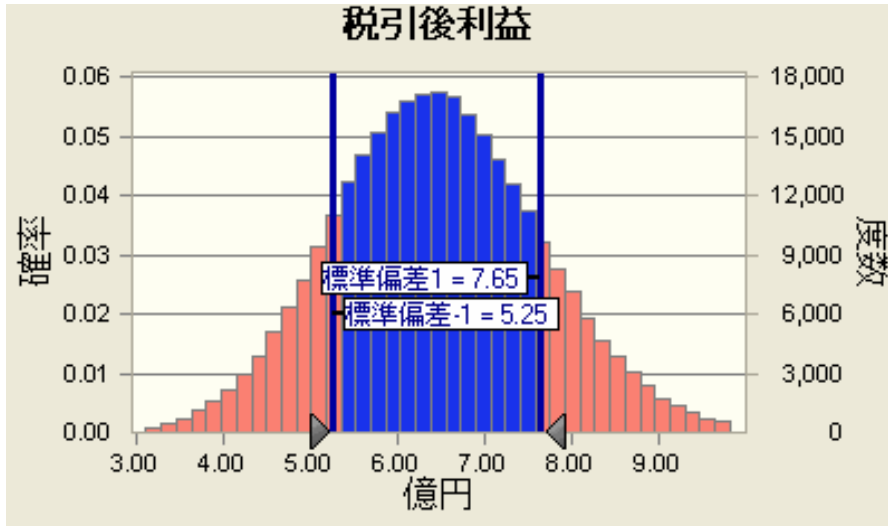
(単位: 億円)

	計画	予想結果	
		平均	1 範囲
経常利益	9.5	10.8	8.8 ~ 12.8

税引後利益予想

【度数分布】

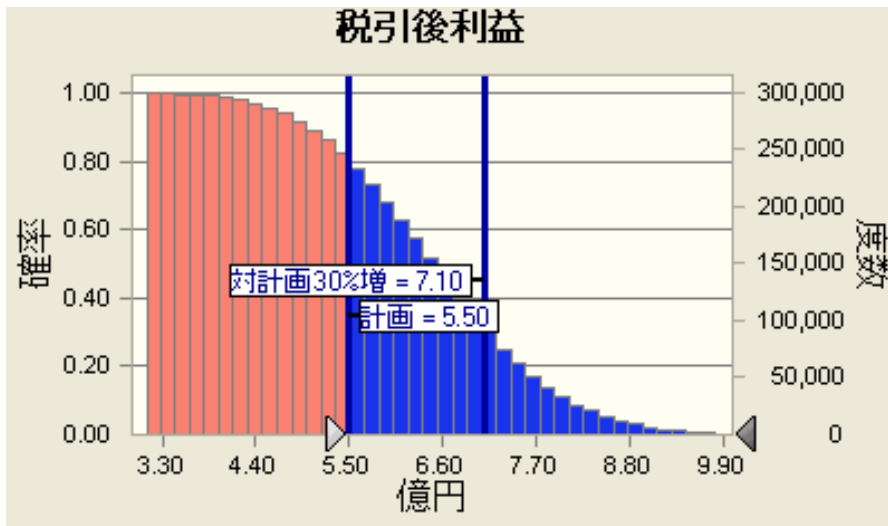
税引後利益



試行回数	300,000
平均値	6.45
中央値	6.42
最頻値(モード)	---
標準偏差	1.2
分散	1.43
歪度	0
尖度	3.05
変動係数	0.18535
下限	1.45
上限	12.79
平均標準誤差	0

【逆累積度数分布】

税引後利益



(単位: 億円)

	計画	予想結果	
		平均	1 範囲
当期純利益	5.5	6.5	5.3 ~ 7.7

今後の課題と方向性

- 更なる成長に向けた投資意識の醸成
- 企業文化の再構成
- 官僚化の防止(前例主義の排除)
- 計測とシャドーワークの両立
- プロデューサー型の人材をさらに増やす
- この5年で新たに入ってきた優秀な人材の活躍の場を創出

3. トピックス

構造計画研究所 ビジネスの源流 - 構造設計

知価創出の3形態

構造設計 耐震解析

防災コンサル・意思決定支援コンサル

エンジニアリング
コンサルティング

展開とシナジー

システム
ソリューション

プロダクツサービス

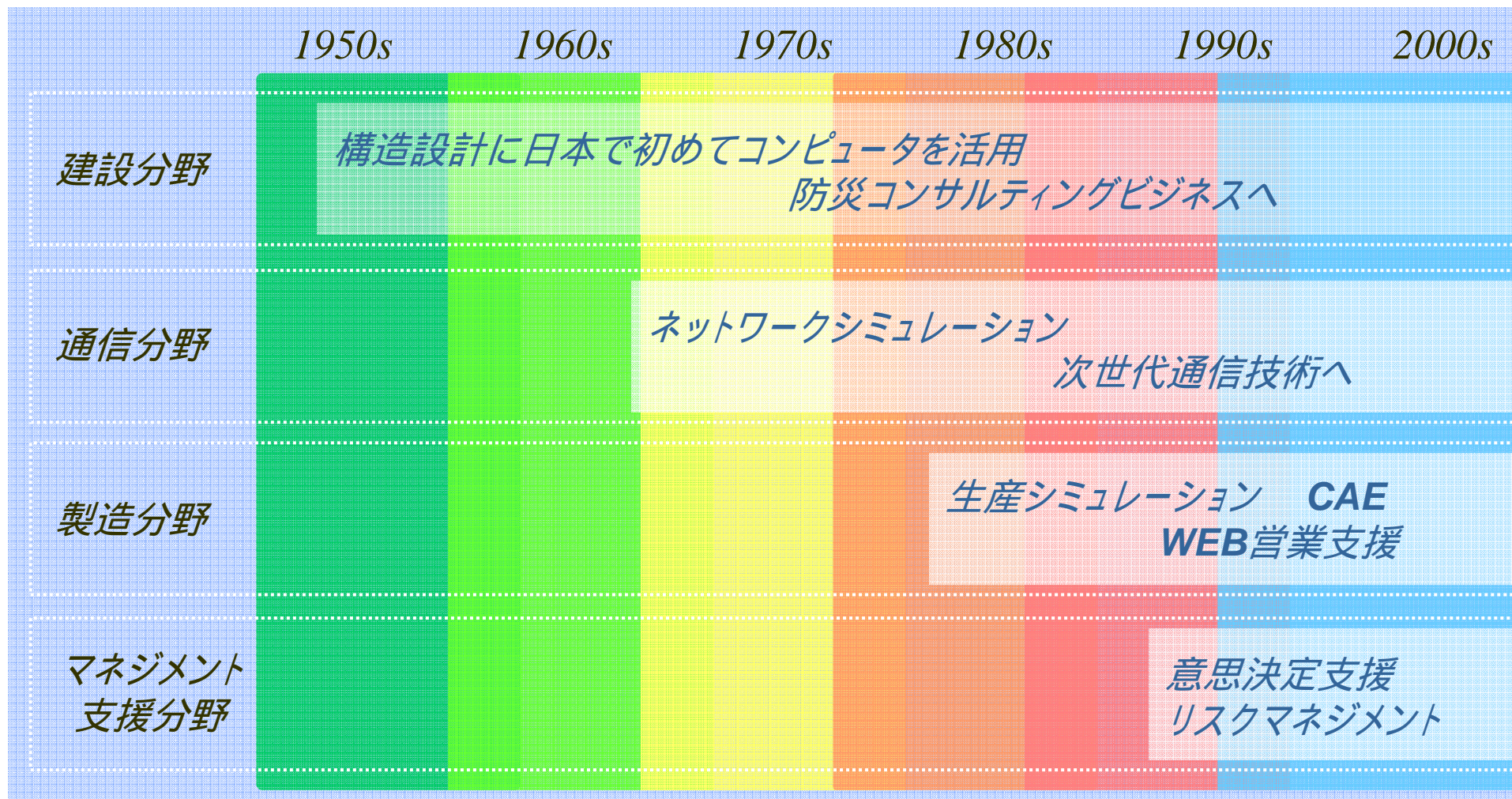
建設系システム 通信系システム

製造系システム

建設系PKG 製造系PKG

通信系、マネジメント支援系PKG

構造設計を源流とした価値提供の展開



構造設計ビジネスの歩み

- 1956 ~ 城郭建築
 - 1960 ~ 電電公社局舎
 - 1960 ~ 電電公社鉄塔
 - 1968 ~ 大阪万博施設
 - 1970 ~ 高層庁舎
 - 1980 ~ 高層都市型ホテル
 - 1985 ~ 海外高級ホテル
 - 1985 ~ NTT局舎
 - 1985 ~ 高層オフィス
 - 1995 ~ ワールドカップ施設
 - 1995 ~ 大型複合再開発
 - 2000 ~ 高層共同住宅
- 学術研究者との協働
RC造耐震設計の基本
S造耐風設計の基本
海外デザイナーとの協働
超高層時代の幕開けの波に乗る
国内に広く超高層展開
海外での現場監理実績
耐震診断のパイオニア
大型鉄骨造の技術に磨きをかける
長大スパン構造物の実績
制震デバイスの本格的適用
免震構造の広範な展開

超高層、制震・免震設計事例

耐震構造



ホテルオークラ神戸



東京高等地方簡易裁判所

制震構造



セルリアンタワー東急ホテル



六本木ヒルズ森タワー



愛宕グリーンヒルズ



構造計画研究所

免震構造



福岡県内集合住宅



京葉ガス新監視指令センター

他社との差別化ポイント

知価を創出する力

- 可能な限り選択肢を示し
- それらを比較分析し
- ベストなものを提案し
- 理解されるまで説明する

- そしてその提案に責任を負う

それを可能にする組織

- 様々なエンジニアリングの経験
- KKE 3形態のシナジー
- 学識経験者との協業
- 人材の育成
- チャレンジの場の提供
- それを担保するリスクマネジメント

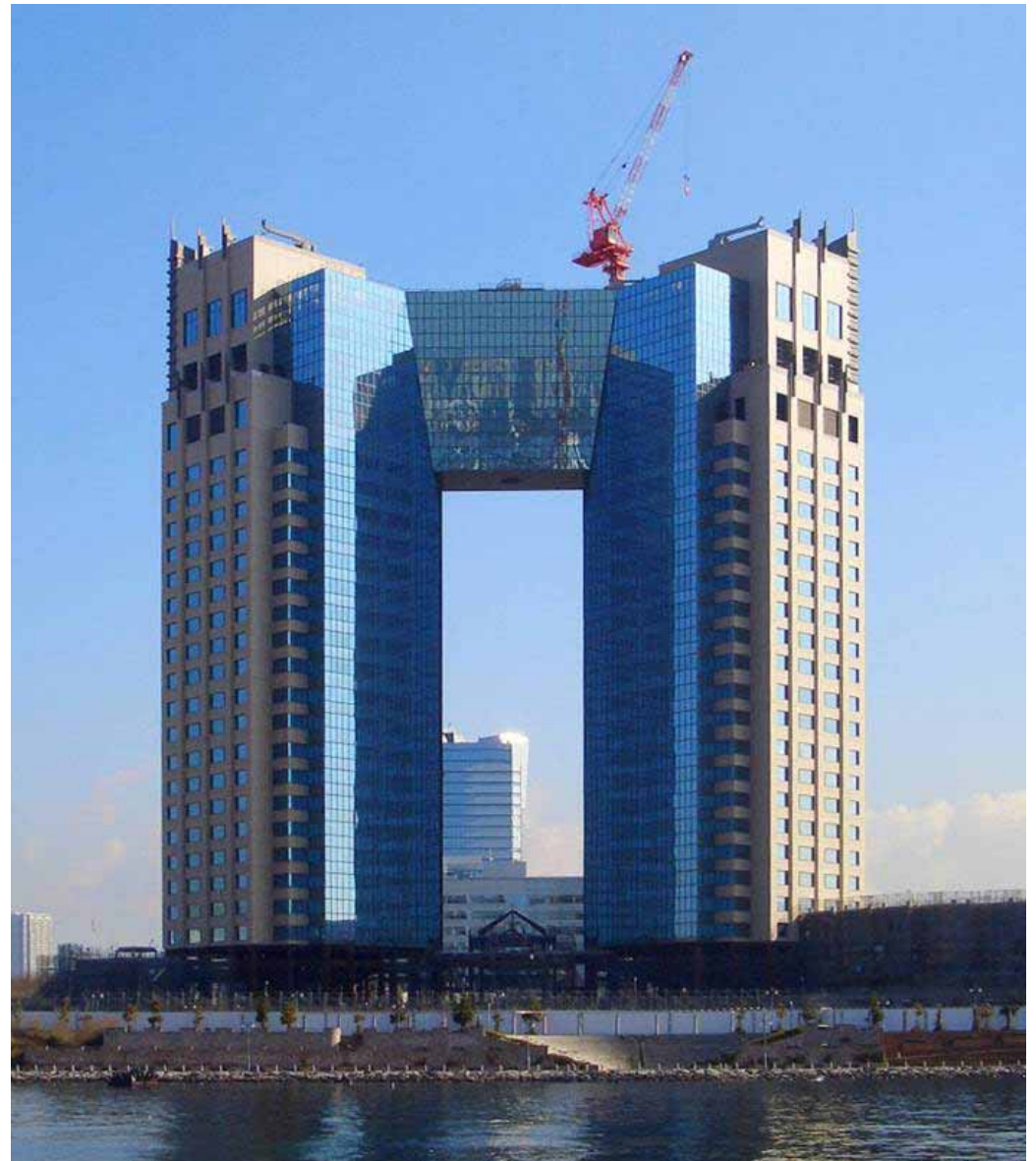
(事例) 東京ベイコートクラブの場合

多面的な比較設計

- RC / S / CFT
- 粘弾性 / 履歴ダンパー
- 基礎梁 / マット基礎
- 杭頭固定 / 回転

連結部の研究

- プールのダンパー効果検討
- 連結部の上下動評価
- ツインタワーの捩れ振動
- 複雑な外装材の風圧評価



(事例) 上海環球金融中心の場合

高度なコーディネーション

- 基本設計 米国
- 実施設計 日本
- 施工図設計 中国
- 行政審査 中国
- 鋼材 欧州・中国
- 技術指導 日本
- 施工者 中国

居住性対策

- 風揺れ マスダンパー導入
- 品質管理
- 検査 遠隔操作システム



構造設計の社会的ポジション

- 仕事の成果が万人に見える（他方、構造安全性は日常的に意識されにくい）
 - 巨額の投資の責任を負っている
 - 国家資格の上で業務を行なっている
 - 法律に基づいて業務を行なっている

 - 非常に社会性が高い
 - 耐震偽装でも注目される（高い志が要求され、社会的責任が大きい）

 - 新しい審査制度が6月開始
 - 新しい国家資格が始まる
 - 報酬制度の議論が始まった
- 相当数の判定員により社会貢献する
責任の取れない事務所は淘汰される
適正報酬確保 活動の先頭に立つ

構造設計ビジネスの展開

構造設計のビジネス

- 構造設計・監理
- 耐震診断・補強
- 免制震コンサル
- 構造レビュー

世の中の動き

基準法改正・社会的責任の増大

PML、BCP、レトロフィット

工業化住宅の進化

エンジニアリングレポート、チューテリジェンス、REIT

ニュースリリース一覧

2007.02.16

新刊「情報技術計測 - ソフトウェア開発組織の明日のために -」 2/25発売

2007.01.15

構造計画研究所 複雑系研究コンペ「第7回MASコンペティション」を開催

2006.12.11

”MIJSが日本のソフトウェアビジネスを変える”MIJSコンファレンス「Japan」2007に参加します。

2006.11.26

意思決定のためのマーケティング ソリューション 事例紹介セミナー開催

2006.11.26

構造計画研究所、PCB設計支援ツールCircuitWorksのマスターディストリビューター業務をサーキットワークス・ジャパンへ移管

2006.10.17

構造計画研究所 社会ニーズが高まる安全対策・防犯に特化したソリューションの展開を開始

2006.08.09

構造計画研究所プライベートイベント「KKE VISION 2006」、9月14日開催決定！

2006.08.09

構造計画研究所 津波避難シミュレータを三重県で共同開発

2006.08.07

日本初、国産ソフトウェアベンダー13社による「MIJSコンソーシアム」発足 市場で支持をうける国産ソフトウェアを有するトップベンダー同士が結束し、多様化する顧客ニーズに対応、国内・海外へのビジネス強化をはかる

2006.08.07

構造計画研究所 ドイツ Vitracom社に資本参加

2006.07.04

構造計画研究所とエージーピー社が提携

2006.07.04

構造計画研究所、高機能版樹脂流動解析ソフトの販売を開始